

計画体系コード	5-4-1		事業名	平岡公園・梅林ライトアップ事業
担当	観光文化局観光コンベンション部観光企画課 梶田 TEL211-2376			
全体計画				
事業内容	集客交流の促進と道内外観光客の本市への入り込み数増加を図るため、札幌の新たな観光魅力づくりとして、平岡公園梅林において梅の開花時期に合わせ夜間のライトアップを実施するとともに、道内外への積極的なPRを行う。 また、北海道も18年度実施の花観光に引き続き19年度においても、花をテーマとして観光振興に取り組んでいる。本市としても、このライトアップ事業を通じ、花に関する新たな魅力づくりを進めることにより、北海道と有機的な連携を図り相乗効果を狙う。		<年度別の事業内容>	
			平成19～22年度 ・ライトアップ事業の実施及び観光客誘致の推進	
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容（決算）		平成20年度事業内容（決算）	
	【事業概要】 ライトアップ期間：5月10日から21日までの11日間 ライトアップ時間：18：00から21：00まで ライトアップ方法：梅林を効果的に照らすことができるように、梅林内に仮設の鉄塔を2塔立て、鉄塔の上部に水銀灯を設置するとともに、来園者が滞留する売店付近のログハウス上に水銀灯を設置し、合計13塔で照射した。 夜間来園者数：14,300人（平成19年度実績） 全日の来園者（ライトアップ期間）約87,900人の約16％を占めた 【事業費】 5,108千円 PRチラシ作成95千円 電気使用料11千円 賠償責任保険料10千円 仮設照明設備設置費用2,709千円 交通誘導警備業務1,253千円 公園管理維持業務1,030千円		【事業概要】 ライトアップ期間：5月1日から11日までの11日間 ライトアップ時間：18：00から21：00まで ライトアップ方法：来園者が滞留する売店付近の園路沿いにある梅の木を約100塔のアップライトにより木の下からライトアップするとともに、第1及び第2駐車場からライトアップ実施エリアに向かう園路に、一定間隔で簡易照明（フットライト）を設置し、明と暗のメリハリある幻想的な雰囲気づくりを行った。 また、本事業を環境に配慮した事業とするため、ライトアップに使用するライトには消費電力を約40％カットすることのできる無電極放電ランプを使用した。 夜間来園者数：22,372人（平成20年度実績） 【事業費】 6,605千円 PRチラシ作成 95千円 電気使用料 92千円 賠償責任保険料・動産総合保険料 41千円 仮設照明設備設置費用 4,053千円 交通誘導警備業務 1,430千円 公園管理維持業務 894千円	
	平成21年度事業内容（予算）		平成22年度事業内容（予算）	
	【事業概要】 ライトアップ期間：5月2日から12日までの11日間 ライトアップ時間：18：00から21：00まで ライトアップ方法：来園者が滞留する売店付近の園路沿いにある梅の木を約100塔のアップライトにより木の下からライトアップするとともに、第1及び第2駐車場からライトアップ実施エリアに向かう園路に、一定間隔で簡易照明（フットライト）を設置し、明と暗のメリハリある幻想的な雰囲気づくりを行う。 また、本事業を環境に配慮した事業とするため、ライトアップに使用するライトには消費電力を約40％カットすることのできる無電極放電ランプを使用する。 夜間来園者数：27,310人（平成21年度実績） 【事業費】 6,800千円 平岡公園を指定管理している財団法人札幌市公園緑化協会に委託（6,800千円） 契約額：6,760千円			

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	5-4-1		事業名	平岡公園・梅林ライトアップ事業			
達成目標の状況							
項 目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
梅開花時期の夜間入園者数		-	14,300人	22,372人	未定	未定	17,600人
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
■ 市民との連携、市民参加 事業実施にあたっては、平岡公園のある清田区及び区内まちづくりセンターとの調整のうえ、近隣に住む住民等に周知を図りながら事業を実施するよう努めた。 ■ 企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] (該当なし) [情報協力] (該当なし) [その他の協力] (該当なし) ■ 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 市民に対する情報提供としては、各メディア及びリーフレットを通し適宜情報提供を行い、周知を図りながら事業を推進していくよう努めた。							
評 価 (成 果)				課 題			
来園者によるヒヤリングからは、本事業の実施により梅林の新たな魅力に触れることができたといった声を多数いただいている。さらに、来園者数で見ると、22,372人と平成19年度(14,300人)に比べ多くの来場があり、本事業に対する関心の高さを知ることができたとともに、周知が図られてきていると思われる。 これらのことにより、市民及び観光客への新たな魅力の提供により、集客交流の促進に寄与したと考えられる。				本事業の周知が図られてきたことにより、道外、海外からの観光客の来園も散見されるが、現状として、市民が多く見受けられる。今後については、照射方法や範囲等のきめ細かい改善を進めより魅力ある事業とし観光資源としての定着を目指し、道外からの観光客を誘客できるような事業としていきたい。			
今後の事業の予定・方向							
平岡公園・梅林の新たな魅力をより発信するため、照射方法及び範囲等のきめ細かい改善を進め、さらに魅力ある事業づくりをしていき、観光資源としての定着を目指していく。 また、旅行雑誌への積極的に掲載や、旅行会社等に対しての売り込みを図るなど、本事業をアピールしていきたい。							

(単位:千円)

計画体系コード	5-4-1	事業名	平岡公園・梅林ライトアップ事業			
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	6,300	6,900	6,900	6,900	27,000
	財国・道支出金	0	0	0	0	0
	財源市債	0	0	0	0	0
	財源内その他	0	0	0	0	0
	財源内一般財源	6,300	6,900	6,900	6,900	27,000
予算	事業費	6,300	6,800	6,800	-	19,900
	財国・道支出金	0	0	0		0
	財源市債	0	0	0		0
	財源内その他	0	0	0		0
	財源内一般財源	6,300	6,800	6,800		19,900
実績	事業費	5,108	6,605	-	-	11,713
	財国・道支出金	0	0			0
	財源市債	0	0			0
	財源内その他	0	0			0
	財源内一般財源	5,108	6,605			11,713
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)				68.6%
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)						
(全体) 平成19年度、20年度については、予算等の大きな差異はないが、電力の供給元を仮設から高圧に変更したため、その分予算が増えている。 [19年度] 予算と決算のかい離の理由については、公園管理維持業務に係る委託先である札幌市公園緑化協会との連携により、節約執行ができたため。 [20年度] [21年度]						